

令和7年度 富士市立鷹岡小学校 グランドデザイン

小中一貫教育目標（学校教育目標）

自ら学ぶ子

重点目標 自分を、仲間を大切にする子



経営の柱

子供の学びを一緒に楽しむ
「授業づくり」

居心地のよい
「幸せな居場所づくり」

安心・安全な
「信頼される学校づくり」

【研修テーマ】
「分かった」「できた」
を実感できる子
研修の重点…一人一人が見通し
をもてる単元構想

- ・静岡大学の山元先生を招聘し、特別支援の視点による授業づくりについて、研修を深め、実践を積む。
- ・山梨大学の三井先生を招聘し、授業のユニバーサルデザイン化や個別最適化を目指したICTの活用について、アドバイスをいただきながら研修を深める
- ・全てのクラスで、授業のユニバーサルデザイン化を図る
- ・一人一授業公開による、授業改善に向けた課題や方策の検討、共有
- ・家庭学習の主体的な取組の啓発

- ・相手を思いやる言葉遣いや、相手を尊重するための「さん」「くん」付けの指導
- ・子供の人権を尊重し、子供理解の上に立った個に寄り添った生徒指導
- ・生き生き、伸び伸びと自分の力を発揮して、成長し合える環境をさらに整える
- ・子供の内面に深く寄り添うための定期的、日常的な教育相談
- ・折に触れて子供の言動に価値づけをし、褒める
- ・自主性を育み、「自分は周りの役に立っている存在である」と感じることができていることを意図した特別活動
- ・学習部、特活部、生徒指導部の連携による特別支援教育の推進
魅力ある学校づくりの推進
“居場所づくり” “絆づくり”
“自己決定”

- ・組織で取り組むいじめ、不登校対策
- ・コミュニティスクール制度を活用した“地域とともにある学校”づくり
- ・学校評価等、保護者、地域の声を学校運営に反映させる（PDCAサイクルの活用）
- ・小中一貫教育の推進
一貫性・系統性のある学習指導及び生徒指導
- ・学校だよりや学年だより等を使った、子供たちの学校生活に関する情報の発信
- ・子供、保護者、地域の方に信頼される職員組織風土の醸成
- ・自分事として捉え、自戒の意識を生むことのできる、不祥事根絶に向けた研修の定期的な実施

目標数値

- ◇授業で学習したことが分かる …90%
- ◇友達と一緒にする学習は楽しい …95%
- ◇家での学習を頑張っている …85%

- ◇学 校 が 楽 し い …100%
- ◇自分にはよいところがあると思う …90%
- ◇友達の気持ちを考えて、優しく話すことができる …90%

- ◇子供は楽しく学校に通っていると答える保護者 …100%
- ◇安心して子供を任せられる学校であると答える保護者…95%
- ◇学校の様子がよく分かると答える保護者 …90%

家庭・地域に開かれた学校づくり

中学校区との連携

- ◎小中一貫教育の推進
- 職員間の交流
 - ・職員合同研修の実施
 - ・3校校長会、連携推進委員会の定期的な実施
- 児童・生徒・職員の交流
 - ・合同あいさつ運動
 - ・鷹中プロジェクト
 - ・中学校からの出前授業

地域との連携

- 地域の皆さん、ふれあい協力員さんによるこども支援（CSとしての活動の充実）
- 地域の教育力の活用
- 地域行事への積極的な参加
- 地域への情報発信

家庭との連携

- 迅速な家庭との情報共有
- 中学校区で連携したエンジョイメディアストップキャンペーンの実施
- OPTA 組織の見直しと活動内容の充実